

くるまにあ

(株)テイコク(岐阜市)
ジオスペースセンター

野村 侑希



あなたの趣味は？と聞かれたら、即座に「くるま！」と答えるほど、私は「くるま」が大好きです。気になるくるまはくるま屋さんに行って実際に試乗して確かめ、愛車を運転するのは勿論、くるまイジリも大好きです。外したタイヤホイールやバンパーなどが自分の部屋に置いてあり、床が抜けないか心配の毎日です。

今の会社に入ることになったのも、車を買うための資金集めのアルバイトがきっかけでした。このときすでに車関連の会社に内定が決まっており、ほかの職種にあまり興味がありませんでした。が、アルバイトでGISソフトを使いベクトルデータ・属性情報の入力作業を行ったことにより、このように地図が作られていくんだーという面白さから、この業界に興味を持ちました。また、忙しい中でも質問には優しく答えてくださり、互いに声を掛け合う姿など、

社内の雰囲気にも魅力を感じていました。そんなときに、通っていた大学にこの会社の募集枠があることを知り、すぐに応募し入社することになりました。

私の所属するジオスペースセンターでは、モバイルマッピングシステムによる空間情報の取得や、GISシステムの構築等を行っており、私はいろいろなデータを作成しています。最近ではデータベースソフトのプログラミングも始めました。

モバイルマッピングシステムといえば、自動走行システムの開発のために詳細な地図情報が必要であり、そこに役立たせることができると考えています。いつの日か、ドライバーが目を瞑っていても、安全に目的地までたどり着く時代がくるかもしれません。そんな時代になっても、「くるまにあ」の私は、小さめのステアリングとシフトノブを握り、マニュアルミッションの車を走らせ続けたいと思います。

月刊『測量』編集委員紹介

変わるもの、変わらないものの狭間で



大国魂神社参道と大鳥居

編集委員

小野 博之

国際航業株式会社

技術本部 地理空間サービス部

昭和63年に国際航業(株)に入社し今年で28年目を迎えています。最初の赴任地は福岡で、その後、東京-仙台-東京と3度の転勤を経験しています。家族の理解があったのか本人に信用がなかったのか定かではありませんが、すべて家族同伴での異動です。仙台では、岩手宮城内陸地震、東日本大震災と二つの大きな地震を経験しました。特に東日本大震災の時には沿岸地域を襲った津波により一瞬にして今までの生活が崩壊してしまう状況を目の当たりにしました。大自然に対する畏敬の念とともに、ため息が出るほどの無常観を感じたことを覚えています。

一方、現在私が住んでいる東京都府中市には大国魂神社があります。大国主命を祀っている神社で創建が西暦111年といえますからたいへん由緒ある神社です。この神社には、ゴールデンウィーク中に開催され奇祭といわれる「くらやみ祭り」があります。この祭りは室町時代の文献にも記載があるようです。このように祭りという文化を長い歴史のなかでも絶やさずに脈々と継承していることは驚く限りです。変わらないことの尊さ、重要さをあらためて実感する次第です。

測量の世界でも他の業界同様、基本的に変化が求められています。また同時に変えてはいけないものもあります。急激であることも含め変化するもの、変わらないものの狭間でバランスを取りながら新たな潮流をつかみ少しでも編集に貢献したいと思っています。